

未利用資源の家畜生産への利用

キーワード 未利用資源, 家畜生産, 資源循環

2
削減を
ゼロに



13
系統変動に
具体的な対策を



■ 研究概要

家畜本来の能力を活用しながら、家畜と地域と地球にとって‘やさしい畜産’を実践するための技術開発に取り組んでいます。

その研究の一つが“未利用資源を利用した家畜生産技術の開発”です。

研究例①「例えば、畑作物収穫後の副産物である茎葉を家畜の飼料として利用する研究によって、乳や肉などの畜産物が得られるとしたら、どうでしょう。」

研究例②「さらに、ウシなどの反芻家畜は温室効果ガスのメタンを放出するので、ある副産物にメタン抑制物質が含まれていたら、どうでしょう。」

農産物や食品の「残りもの」を飼料として家畜生産に利用していく試み、このような研究を通じ、食料や環境などの課題を解決するための取り組みに貢献していきたいと考えています。



■ どのような共同研究・連携に結びつけられるか？

- ・未利用資源と地域飼料資源の組合せによる低コスト飼料の開発に関する研究・連携
- ・地域内での資源循環を意識した持続可能な家畜の飼養管理に関する研究・連携
- ・特色ある良質な畜産物（乳、肉、卵）の生産に関する研究・連携

堀口 健一 教授 HORIGUCHI, Ken-ichi

専門分野：家畜管理学

E-mail : horiguti@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

